

静岡いきものの 市 散策マップ

山原堤コース



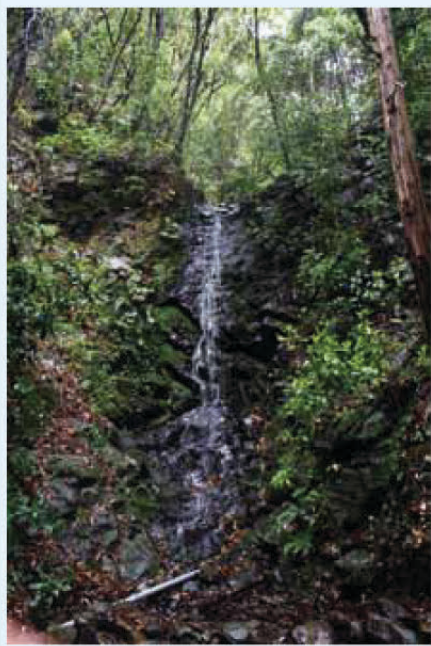
山原バス停から小仕の滝まで



小仕の滝周辺



小仕の滝



アサヒナカワトンボ



ミヤマカワトンボ

- 舗装道路
- 遊歩道
- 河川・池

山原堤方面

山原堤周辺

チョウの成虫と幼虫

チョウは完全変態をします。季節によって、卵、幼虫、サナギそして羽化し成虫になります。
アサギマダラの幼虫はキジョランが食樹です。ゴマダラチョウの幼虫はエノキが食樹です。他にどんな成虫と食樹があるか図鑑などで調べてみましょう。

アサギマダラ



成虫

幼虫

ゴマダラチョウ



成虫

幼虫

小仕の滝方面



ジョウビタキ♂



メジロ



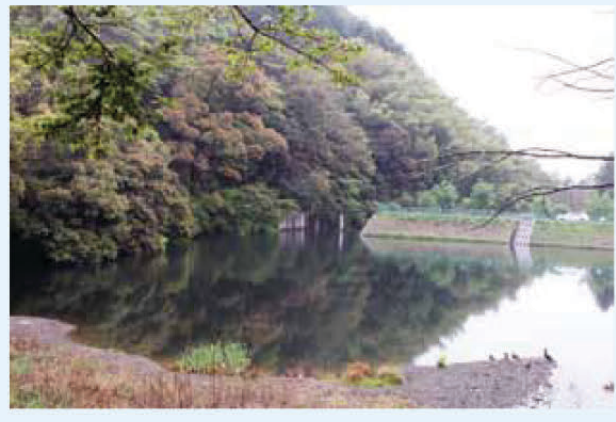
キンクロハジロ



オオルリ

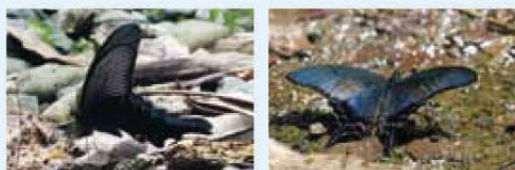
山原堤の由来

山原川上流に位置する山原は、山をひかえた扇状の原という地形からこの名がつけられたと言われています。
この地域は昔から水不足に悩まされ、たびたび水をめぐる争いがありました。こうした惨状を克服するために、大正6年につくられたのが山原堤です。



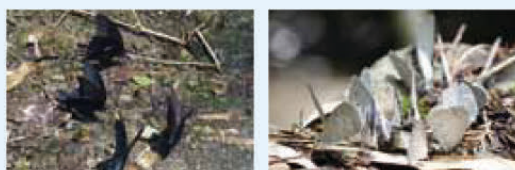
吸水するチョウ

道路の水溜りや湿ったところで、大型のチョウが吸水しているのを見かけます。静かに観察して、どんなチョウが吸水しているか見てみましょう。



オナガアゲハ

カラスアゲハ



モンキアゲハ (左上2頭) と ナガサキアゲハ (右下2頭)

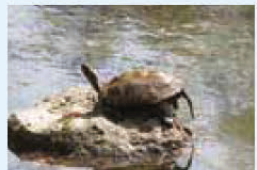
ルリシジミ

池のカメたち

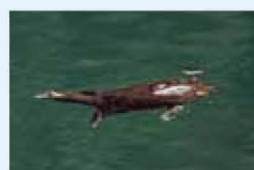
小さな貯水池ですが、カメの種類が見られます。日本在来種のイシガメ、クサガメや外来種のミシシippアカミガメが流木の上で休んでいたり、スッポンが泳いでいたりします。



クサガメ



ニホンイシガメ



スッポン



ミシシippアカミガメ

山原堤貯水池



カワセミ



ホオジロ

山原バス停方面

50m

100m

静岡市 いきもの 散歩マップ

山原堤コース

むし

アオスジアゲハ



黒地のはねに水色の筋があり、とても速く飛ぶアゲハチョウの仲間です。幼虫はクヌギの葉を食べて育ちます。

オナガアゲハ



黒色のアゲハチョウの仲間、後ろのはねの長い突起が特徴です。主に山地の深緑の雑木林の縁部にすみ、幼虫はコクサギを食べます。

カラスアゲハ



4～9月まで3回ほど発生します。花の蜜を好みますが、夏は谷間の湿った道路で給水することもあります。

ジャコウアゲハ



はねを広げると10 cmくらいのやや大型のチョウで、堤防や林の周辺など開けたところで見られます。

クロアゲハ



黒い大型のアゲハチョウで、後ろのはねには突起があり、三日月型の赤い斑紋が目立ちます。幼虫はミカン類、カラタチの葉を食べます。

ナガサキアゲハ



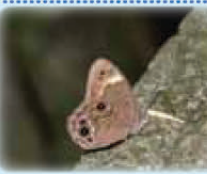
10 cmをこえる大型のチョウで、尾のような突起がありません。ほかのアゲハチョウの仲間のように、幼虫はミカンの仲間を食べます。

モンキアゲハ



大型のアゲハチョウの仲間、後ろのはねの大きな黄白色斑が目立ちます。平地～丘陵地の樹林地にすみ、幼虫はカラスサンショウを食べます。

クロヒカゲ



中型の黒みの強いジャノメチョウの仲間、やや暗い雑木林の中や周辺で見られます。成虫は樹液によく集まり、幼虫はササの仲間を食べます。

ヤマトシジミ



人家のまわりでもよく見られます。幼虫はカタバミを食べ、成虫は3～11月に見られます。

ルリシジミ



低地から山地まで見られます。幼虫はマメの仲間をはじめいろいろな植物の花を食べ、成虫は3～10月に見られます。

アサヒナカワトンボ



体長4 cmくらいの、金緑色で細い脚をもつトンボです。オスははねがオレンジ色のものと透明なものがあります。

ミヤマカワトンボ



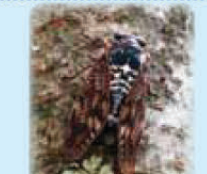
日本のカワトンボの仲間では最大で、体長は7～8 cmほどになります。赤褐色のはねを持ち、腹部は青味がかった金属光沢のある体色です。山地の川にすんでいます。

オオシオカラトンボ (オス)



脚が黒く、はねを広げると9 cmをこえるシオカラトンボの仲間です。からだは、オスは全体が黒い、メスは前半が黄色で後半が黒色です。

アブラゼミ



褐色の不透明なはねの大型のゼミです。人里から山地まで広く見られます。

ジョロウグモ



大きな網を張る大型のクモの仲間です。メスが大きく20 mm以上になることもあり、オスは10 mmくらいです。

ワキグロサツマノミダマシ



緑色の腹部の小型のクモの仲間です。日中は葉の裏にかくれていて、夕方に活動をはじめる、網をはりだします。

アクセス情報



- 【バスでのアクセス】
1. しずかつバス清水駅前バスターミナル5番乗場より「山原梅蔭寺線」に乗り。
 2. 「山原」にて下車（清水駅より約17分）。
 3. 山原堤まで、徒歩 約10分。

緊急連絡先

- ・静岡県救急医療情報センター TEL&FAX: 0800-222-1199 (休日・夜間当番医を教えてください。24時間対応)
- ・消防 119番
- ・警察 110番

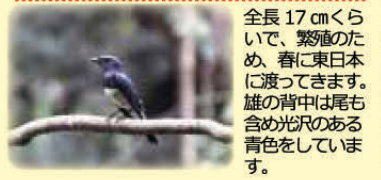
注意事項

- ・ハイキングでの安全は自己責任をお願いします。季節に合わせた服装、水や食料の準備、緊急時の連絡先の確認など、準備をしっかりとっておきましょう。
- ・里山には、ハチ、ヘビやヒルなどの危険な動物もくらしています。出会ってしまったら、刺激しないよう注意し、ゆっくりその場をはなれてください。
- ・コースの中には私有地が含まれる場合があります。果樹、花や山菜などを無断で取らないでください。
- ・動物も植物も、たくさんあるからといって、むやみにとるのはやめましょう。また、他の土地から動植物を持ち込まないようにしてください。

制作：NPO法人 静岡県自然史博物館ネットワーク
 発行者：静岡市環境創造課
 〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
 TEL: 054-221-1357 FAX: 054-205-2666
 制作年：平成27年2月

とり・どうぶつ

オオルリ



全長17 cmくらいで、繁殖のため、春に東日本に渡ってきます。雄の背中が尾も含め光沢のある青色をしています。

ジョウビタキ



全長14 cmくらいで、翼は黒褐色でまん中あたり白い斑紋があります。本州では冬に見られます。

メジロ



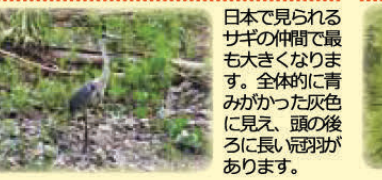
全長12 cmくらいで、からだの上面はやや暗めの黄緑色で、眼のまわりは白色、胸は黄色になります。

カワセミ



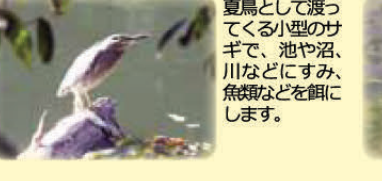
全長17 cmくらいで、水辺にすみ、ハトより小さな水鳥で、あざやかな水色の体と長いちばしが特徴です。静岡市の鳥です。

アオサギ



日本で見られるサギの仲間中最も大きくなります。全体的に青みがかった灰色に見え、頭の後ろに長い冠羽があります。

ササゴイ



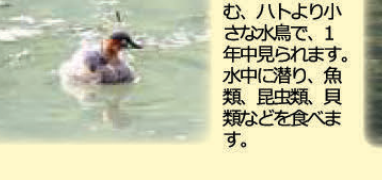
夏鳥として渡ってくる小型のサギで、池や沼、川などにすみ、魚類などを餌にします。

カワウ



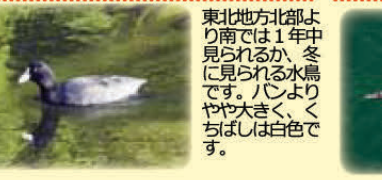
魚を主食とする大型の水鳥です。近年数が減っており、あちこちで見られるようになってきました。

カイツブリ



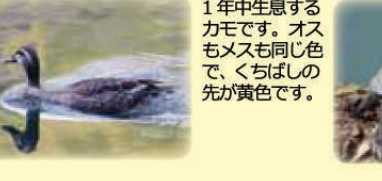
池や沼などにすみ、ハトより小さな水鳥で、1年中見られます。水中に潜り、魚類、昆虫類、貝類などを食べます。

オオバン



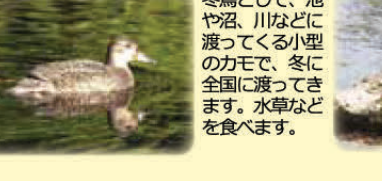
東北地方北部より南では1年中見られるが、冬に見られる水鳥です。バンよりやや大きく、くちばしは白色です。

カルガモ (オス)



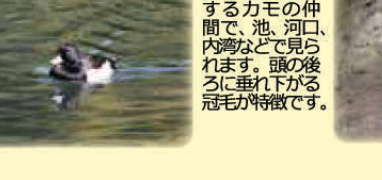
1年中生息するカモです。オスもメスも同じ色で、くちばしの先が黄色です。

コガモ (メス)



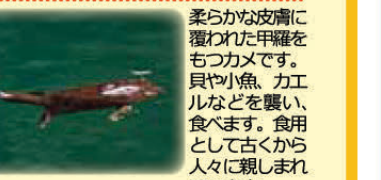
冬鳥として、池や沼、川などに渡ってくる小型のカモで、冬に全国に渡ってきます。水草などを食べます。

キンクロハジロ (オス)



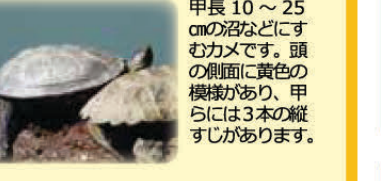
冬鳥として渡来するカモの仲間、池、河口、内湾などで見られます。頭の後ろに垂れ下がる冠羽が特徴です。

スッポン



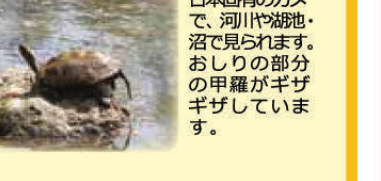
柔らかな皮膚に覆われた甲羅をもつカメです。貝や小魚、カエルなどを食べ、食用として古くから人々に親しまれています。

クサガメ



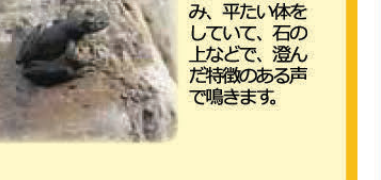
甲長10～25 cmの沼などにすみカメです。頭の側面に黄色の模様があり、甲らには3本の縦すじがあります。

ニホンイシガメ



日本固有のカメで、河川や湖沼で見られます。おしりの部分の甲羅がギザギザしています。

カジカガエル



山地の清流に住み、平たい体をしていて、石の上などで、澄んだ特徴のある声で鳴きます。

しょくぶつ

シャガ



アヤメの仲間、山地の林のまわりや道ばたに生えています。4～5月に白色に少し紫がかった花を咲かせます。

ヒガンバナ



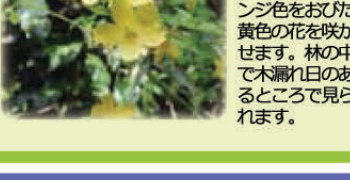
秋のお彼岸の頃に赤い花を咲かせます。花が枯れた後に出る細長い葉は冬の間だけ見られます。全体に毒があります。

ムラサキケマン



クシの仲間、草地や林のまわりに生えています。4～6月に赤紫色の花を咲かせます。

ヤマブキ



バラの仲間、4～5月にオレンジ色をおびた黄色の花を咲かせます。林の中で木漏れ日のあるところで見られます。

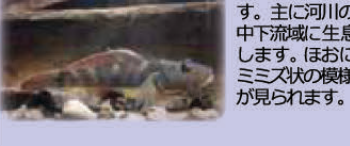
さかな

オイカワ



全長10 cmほどの川魚です。繁殖期の5～8月には、オスは水色と桃色の鮮やかな体色になり、ひれは赤色をおびます。

シマヨシノボリ



体長6 cmほどのハゼ科の仲間です。主に河川の中下流域に生息します。ほかにミミズ状の模様が見られます。

アブラハヤ



体長12 cmほどのコイの仲間、食性は雑食です。体の表面に縦縞が見られます。

オオクチバス



特 別 指定外来生物
 ブラックバスとも呼ばれ、釣りのための放流のために広まった外来種です。池や沼にすみ、他の魚を食べています。

メモ

しずおか みんなの
しぜんたんけんてちょう

しぜんたんけんてちょう 検索

静岡市が運営するウェブサイト「しぜんたんけんてちょう」では、皆さんが発見した動物・植物・昆虫の発見情報を1つの地図に落とし込んでいき、共有しています。ハイキングで見つけた生き物は、写真を撮ってぜひ発見情報を投稿ください!!(ウェブサイト内に投稿ページがありますので、そちらから情報をご提供ください)

